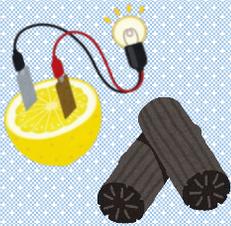


きょういくしえんだより



「いろいろな電池」の出前授業 ～栗野南小学校4年生編～



6月27日(木)に4年生の出前授業におうかがいしました。

まず電流クイズに答えてもらい、次に電池の発明や身の回りで使われているいろいろな電池の種類についてのお話を聞いてもらいました。

そのあとにレモンを使った電池づくりを体験しました。銅板と亜鉛板でレモンの輪切りをはさみ、それぞれを導線でつなぎます。少しおさえると果汁が出て電子オルゴールが鳴り始め、電流がつくられたことが確かめられました。



次に木炭を使った電池づくりに挑戦しました。木炭に巻きつけたキッチンペーパーを食塩水でぬらします。食塩水は松原海岸の海水を使い、その上にアルミはくを巻きます。木炭を+極、アルミはくを-極として導線でプロペラモーターをつなぐと、いきおいよく回りはじめました。実験の後にアルミ箔をはがして観察すると小さな穴がたくさん開いていて、アルミニウムがとけて電流がつくられたことがわかりました。



～授業担当の重神先生より～

日本人が乾電池を発明したことに興味を持ってくれました。実験ではどのペアもうまく手分けをして電池づくりができました。レモンや木炭で電気が作られることは驚きですね。ほかにも果物や野菜を使った電池がありますので、ぜひお家でも挑戦してみてくださいね。

